

健全な教えに耳を傾ける

(テトス2・1～15)

一、テトス書の背景

テトスは伝道活動において経験を積んだ上で、使徒パウロの指示によりクレタ島に残り、伝道と教会活動に専念したようです。1章5節に次のように書いてあります。《私があなたをクレタに残したのは、残っている仕事の整理をし、私が命じたとおりに町ごとに長老たちを任命するためでした。》と《私があなたをクレタに残したのは》と書かれています。これは、パウロもテトスと共にクレタ島に行って伝道をしたということになります。パウロがテトスに託した務めは《町ごとに長老たちを任命する》ことでした。伝承によれば、テトスは生涯にわたってクレタ島に留まり、町々の群れを指導して生涯を終えたようです。おそらくテトスは、クレタ島での伝道と牧会の務めにおいて苦労したと思われる。と言いますのは、島民は癖のある人たちだったからです(1・10～16)。

二、健全な教えをもって

テトスが伝道牧会をしたクレタ島の教会、すなわちイエス・キリストを救い主、また神と信じる群々には、健全な教えが語られ、守られることが不可欠で

した。では、健全な教えとは何なのでしようか。パウロが語ったのは、教会という現場における「健全な教え」でした。2章1節をご覧ください。《しかし、あなたには健全な教えにふさわしいことを語りなさい。》とあります。そして、2節以降に具体的な教えが始まります。

では、健全な教えとは、年配の男性にはこうするように教えなさいとか、年配の女性に対しては次のように教えなさいとか、若い人たちにはこのように勧めなさいとか、奴隷の身分の者はこうしなさいとか、そういう類いのことなのでありましようか。ちがうと思います。もしそれが「健全な教え」であるなら、ここで語られている内容は、「品行方正で立派な人になりなさい」という教えになってしまいます。「健全な教え」とは、神を信じることに於いて健全であることです。使徒たちが解き明かしたキリストの福音をまっすぐに信じていること。これが健全な教えです。今日において、聖書からまっすぐに語ることで、すなわち、イエス・キリストを罪からの救い主、また神と信じていることです。こうしてまっすぐに信じているなら、実によって分かります。信じ方を誤りますと、たとえばイエス・キリストは道徳的な教師であると受け止めますと——そういう一面もあります——、キリスト信仰が道徳の教えになってしまいません。

生まれながらの人は神の御心を満足させることができません。もしできたのであるなら、キリストは不要です。私たちは伝えられた教えの基準に従ってキリストを受け入れることにより、たましいが新しく生まれ変わりました。そのことを日々の生活の中で経験してきます。

三、恵みに生かされる

皆さまに伺います。信仰生活、教会生活は、楽しいでしょうか。それともいやながら、仕方なく続けているでしょうか。いやいやながら続けている方は少ないと思います。

私たちは「主に礼拝をささげたい」と願い、この所に集まっています。あるいはユーチューブを通して、礼拝をささげています。献金もそうです。なぜ、そのようなになるのでしょうか。ひとりで語るなら、神の恵みに生かされているからです。恵みの現れは、人それぞれに異なります。自分にできることが他の方にはできないでしょうし、他の方にできることが自分にはできません。

私たちにあって、キリストを信じて罪の赦しを得ることも、聖霊に導かれて主と共に日々の生活を送ることも、限定的にこの世を支配している悪魔と戦うことも、キリストの再臨を待ち望むことも、神の恵みによります。キリストを信じたら、後は上昇気流に乗って

しまつたら良いのです。あかしをするチャンスが訪れたときに、何を語るべきかと硬くなる必要はありません。御霊に教えられた言葉(1コリ2・13)を用いたら良いです。

11節をご覧ください。《実に、すべての人に救いをもたらす神の恵みが現れたのです。》とあります。神の恵みは、神の御子イエス・キリストによって現れました。続いて、12節、13節をご覧ください。《その恵みは、私たちが不敬虔とこの世の欲を捨て、今の世にあって、慎み深く、正しく、敬虔に生活し、祝福に満ちた望み、すなわち、大いなる神であり私たちの救い主であるイエス・キリストの、栄光ある現れを待ち望むように教えています。》とあります。神の恵みの現れであるイエス・キリストは、私たちが罪の力から解放し、私共をキリストの再臨を待ち望む者に変えてくださいました。続いて、14節です。

《キリストは、私たちがすべての不法から贖い出し、良いわざに熱心な選別の民をご自分のものとしてきよめるため、私たちのためにご自分を献げられたのです。》とあります。キリストは、教会という神の民をおこすために、ご自身をささげられました。

神の恵みの現れであるイエス・キリストを見上げ、恵みに生かされて信仰生活を送ってください。それこそが「健全な教え」です。